



## インテリジェンス

# Microsoft Lyncで音声基盤統合 PBXレスで運用コスト削減も狙う

昨年いち早く「Microsoft Lync 2010」の導入に踏み切ったインテリジェンス。IM／プレゼンス、Web会議、メールに加え、電話システムも統合した先進的なUC基盤の構築を進めている。

文◎坪田弘樹(本誌)

Microsoft Lyncで電話システムも含めたユニファイドコミュニケーション(UC)基盤を作る――。

総合人材サービスのインテリジェンス(本社:東京都千代田区)は2010年8月、日本マイクロソフトのUC基盤製品「Microsoft Lync 2010」の導入を開始した。

同社は08年から、Lyncの前身である「Microsoft Office Communications Server 2007(OCS)」の運用を始め、インスタントメッセージング(IM)やプレゼンス機能、Web会議「Live Meeting」を社内の特定期間部門に展開

電話とメールのみだった既存のコミュニケーション環境に新たなツールを加えて、その効果を検証してきた。

そして、昨年登場したLyncがOCSに比べて大幅に音声通話機能を拡充した点を評価し、音声基盤も既設のIP-PBXからLyncのソフトウェアIP-PBX機能へと移行する計画を立てた。まず、IT部門で、Lyncのクライアント「Lync 2010」をインストールしたPCで内外線通話を行う仕組みを構築。IM／プレゼンス、電話、Web会議がPC上で連携するUC環境をパイロット導入し、2011年1月から

## User Profile

### インテリジェンス

#### ■ 設立

1989年6月

#### ■ 本社所在地

東京都千代田区丸の内2-4-1

#### ■ 事業概要

人材派遣、就職・採用支援、求人情報サービスなど

#### ■ 導入の目的と効果

IMやソフトフォン、Web会議等の導入と、コミュニケーション基盤の統合による連絡・業務効率化、運用コストの削減

#### ■ システム概要

Microsoft Lync Server 2010を導入。Office Communications Server 2007で利用していたIM／プレゼンス、Web会議に加え、音声通話もPCクライアントで行うパイロット環境を構築した。既存のIP-PBXとはゲートウェイを介して連携する



インテリジェンス  
ビジネスインフォメーション本部  
業務システム部  
全社サービス開発グループ  
マネージャー  
宮地和雄氏



インテリジェンス  
ビジネスインフォメーション本部  
業務システム部  
サービス企画グループ  
金島利明氏

運用開始した。

## 「何でもメール」の無駄を解消

ハードウェアPBXからの乗り換えを含めてLyncによるUC基盤を構築する例は、国内ではまだ希少だ。

それだけでなく、今日の傾向として、コミュニケーション環境への投資は優先順位の高い分野とは言えない。